

スリーハート

令和7年7月18日（金）発行

自分で決める夏休みの過ごし方

昨年度から夏休みは、日誌以外の宿題を出していません。（一部の学年は、この季節にしかできない植物の観察をおこないます。例年の作品募集は、自由参加です。）

夏休みは、子どもたちが学校の日常から離れて、新しいことを学び、自分自身を発見する絶好の機会です。一律の宿題をなくすことで、子どもたちの主体性を育むことができます。夏休みだからといって、学ぶことを止めるわけではありません。むしろ、自分のために、自分が本当に興味をもっていることを探究する時間を増やしてほしいと願っています。もちろん、自分の得意なことを伸ばしたり、苦手なことに集中して取り組んだりすることもよいと思います。

夏休みに自分で計画を立て、主体的に学びを進めることで、子どもたちが自分の学びをコントロールし、生涯にわたる学習者としての基盤を築く手助けとなると考えています。

また、ご家庭での貴重な時間を共有し、お子さまの成長をサポートする機会も増えることと思います。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

自分のために、自分から、チャレンジ!!

先日、1年生が生活科の時間に、シャボン玉遊びをしていました。一度にたくさんのシャボン玉を飛ばそうと、うちわの骨組みを使ったり、ストローの束を使ったりして工夫していました。子どもたちが楽しみながら学びを深めるすてきな取り組みでした。

6年生は、理科の時間に自由研究の計画を立てていました。自分で不思議に思ったことを追究できるといいですね。

夏休みのチャレンジを「自分のため」に変えてみると、学びはもっと楽しく、意味のあるものになるのではないのでしょうか。充実した夏休みになることを願っています！



甚目寺西小ホームページ

4月から7月までの学校の記事を掲載しています。ぜひご覧ください。「甚目寺西小」で検索、または右の二次元コードからお願いいたします。

